



2024年8月9日

各 位

スペースシャワーSKIYAKI 会社名

ホールディングス株式会社

代表取締役共同社長 林 吉人代表者名

代表取締役共同社長 小久保 知洋

( 東証スタンダード・コード 4838 )

問合せ先 取締役 酒井 真也 ( TEL. 03-6478-2394 )

# 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月9日開催の取締役会において、2025年3月期の連結業績予想及び1株当たり配当予想を以下の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

(単位:百万円 百万円未満切捨て)

## 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)		_	_	_	円 銭
今 回 予 想 (B)	10, 471	675	681	368	23. 27
増 減 額 (B-A)	_	_	_	_	_
増 減 率		_	_	_	_
(参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)※	8, 922	683	679	424	50. 72

## 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	_	1	1		円 銭 -
今 回 予 想 (B)	19, 578	768	777	406	24. 35
増 減 額 (B-A)	_	_	_	_	_
増 減 率	_		_	_	_
(参考)前期実績 (2024年3月期) ※	16, 143	618	619	280	33. 41

(注)前期第2四半期実績及び前期実績の売上高については、 会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載。

## 2. 業績予想修正の理由

当社グループは、2024年4月1日を効力発生日として株式会社SKIYAKIと経営統合し、持株会社体制へ移行いたしました。2025年3月期の連結業績予想ついて、経営統合効果の算定や経営統合により生じる「のれん」など、企業結合に関する会計処理方法の確定に時間を要することから未定としておりましたが、この度、合理的な連結業績予想の算定が可能となりましたので、上記の通り修正いたします。

2025年3月期は、株式会社SKIYAKIの業績が新たに当社グループの業績に加わる一方で、経営統合により、顧客関連資産の減価償却費及びのれんの償却費負担が増加する見込みです。また、経営統合による諸経費やオフィス統合による移転費用などの一時費用の発生により、通期連結業績予想として、売上高は19,578百万円(前期比21.3%増)、営業利益は768百万円(前期比24.4%増)、経常利益は777百万円(前期比25.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は406百万円(前期比26.0%増)を見込んでおります。

(注)上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 3. 配当予想修正の理由

当社グループは、安定的・継続的な配当政策をとることで株主に対する長期的な利益還元を行うことを経営の重要目標の1つとして位置付けております。かかる方針のもと、急速に変化する市場環境に的確に対応し、競争力と収益力を強化するための再投資に備えた内部資金の確保も念頭におきながら、業績、財政状態及び配当性向等を総合的に勘案して、配当額を決定することとしております。

当社は、年1回の期末配当を行うことを基本方針としております。また、当社は会社法第 454 条第 5 項 に規定する中間配当をすることができる旨を定款に定めております。剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当を行う場合には取締役会であります。

当連結会計年度につきましては、通期業績予想及び将来の事業投資等を総合的に勘案して、期末配当予想を1株当たり10円に修正いたします。

# 4. 修正の内容

	年間配当金(円)				
	第2四半期末	期末	合 計		
前 回 予 想 (2024年5月14日公表)	0.00	未定	未定		
今 回 予 想	0.00	10. 00	10.00		
前 期 実 績 (2024年3月期)	0.00	10.00	10.00		